



**ZERO**  
**ARBON**  
**CITY**  
**TOKOROZAWA**



**マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）**  
**2022年10月23日**

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

### グループワーク 結果の説明

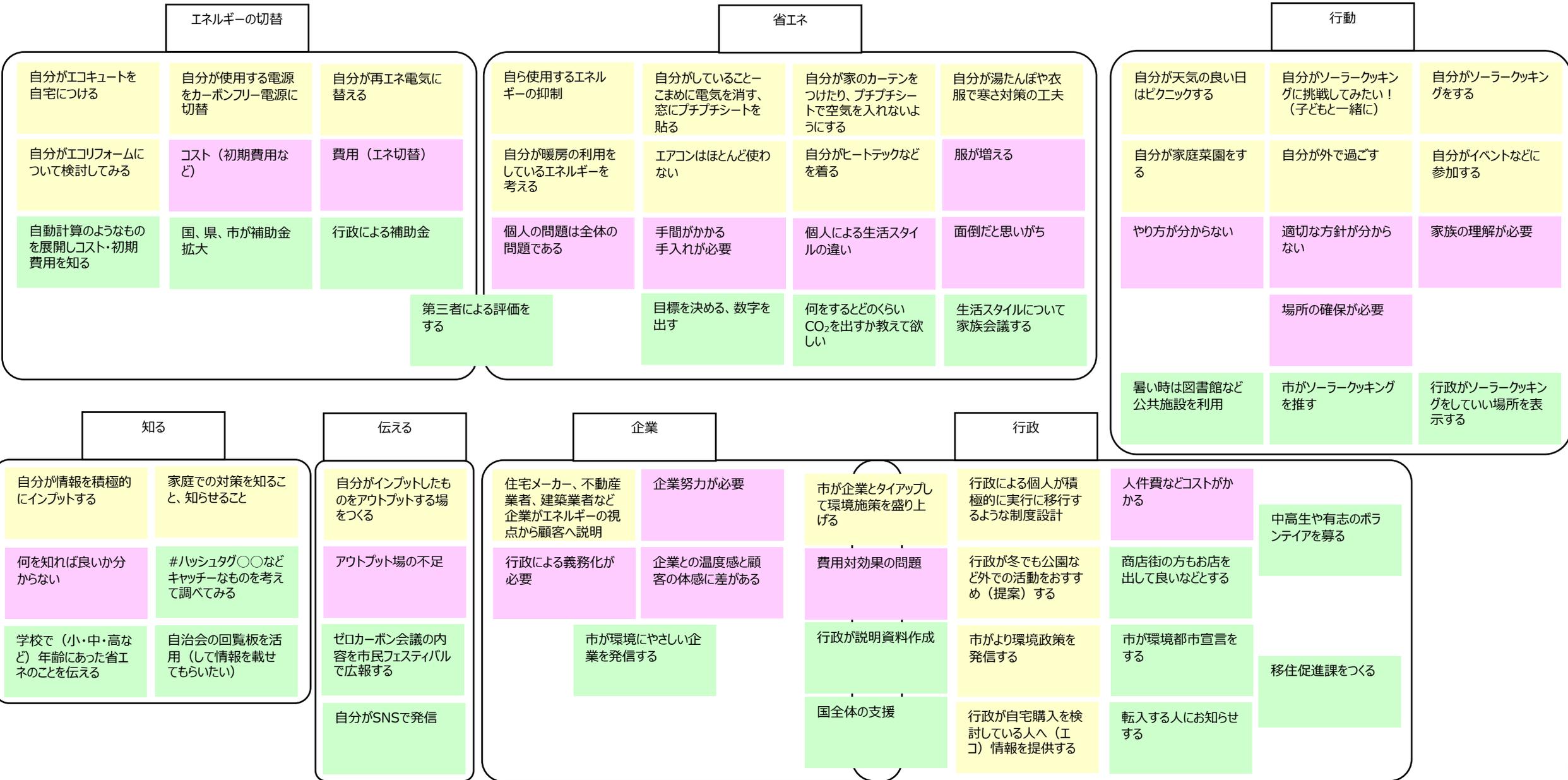


- ※ 黄色のポストイットは「取り組んだ方が良いこと」を書いたものです
- ※ 桃色のポストイットは「取り組むにあたっての課題」を書いたものです
- ※ 緑色のポストイットは「課題への方法（対策）」を書いたものです
- ※ 柿色のポストイットは、会議中もしくは会議後に補足説明するために加えたものです
- ※ 水色の番号①は、グループがイチオシする「課題への方法（対策）」です。

# マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

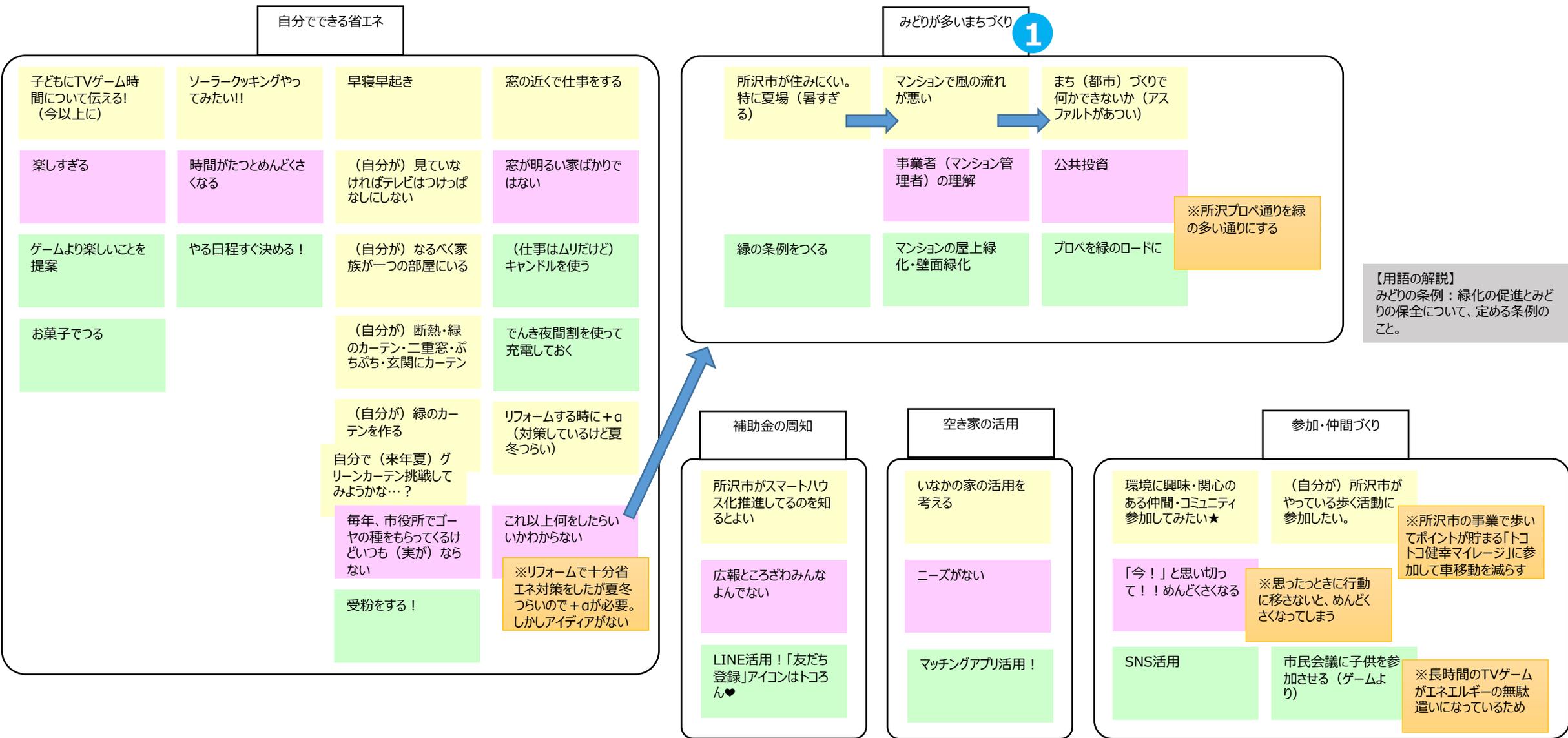
# グループ1



# マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

# グループ2



# マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

# グループ3

### 節電

私が家の中で家族みんなと同じところにいる or 外出する	自分が自宅にいないように外出を多くする	自分がテレビを何気なくつけることをやめる	照明は必要最低限の明るさで
冷えそうな日には早めにシャッターを閉める	エアコンをあまり使わない	つい長時間使ってしまうもの（エアコンなど）には切タイマーをつける	日中の自然光を使う
自分が電気をつけっぱなしにしない、夏場は給湯の電源を切る	窓開けで換気	夜は早めに明かりを消す	寒い日はフリースと半纏で乗り切る
冬の休日は布団で過ごす	自分がグリーンカーテンを作る	ある程度の我慢が必要	高多湿の日本の気候へのシーズン対策
管理が面倒	視力が悪化するかもしれない	精神的負担がある	熱中症になりやすくなる
家族の協力・理解	部屋に仕切り板を立てて個人の空間を確保する	1つの部屋でも仕切りを活用して複数人過ごせる部屋に	市民会議で学んだことを家族と話し共有
照明から始めよう	大量の吸湿剤を部屋に置く	虫対策は虫取りポンで	1 節電を楽しむ（目に見える数値目標などで）

### エコ住宅

エコキュートにする	オール電化にする	戸建なのでリフォーム（二重窓、エコキュート）を行う	自分が「エコ住宅」設備の充実へ
自分が業者を選ぶのが難しい	自分が補助金の支給時期に合わせてスケジュール立てが必要	改修費がかかる	改造にお金がかかる
認定業者を所沢市に出してもらおう	企業や行政が旅行プランのように業者の比較サイトを作る	蓄電池の利用	住宅密集地こそ緑比率を高く
電気を使わないように冷やし手段（打ち水など）をする	日陰を作る（すだれ、樹木）	給湯器に広告をつけて値段を下げてもらう	

### 食・調理

自分が調理時間を短くする	時短調理	効率の良い調理順序に取り組む
食べ残しをしない、生ゴミを減らす	好きな料理が作れなくなる	調理家電をうまく使う

### 行政・企業の取り組み

企業や役所の方々が施設をエコっぽくする（環境対策）	企業は照明をセンサーにして人がいるところだけを照らす
---------------------------	----------------------------

# マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

# グループ4



### エコリフォーム

自分が断熱材を窓枠に設置する

自分がリビングに内窓を設置する

自分が住宅をエコ化する

企業がエコキュートの性能を上げる

※エコキュートのモスキート音によって、体調を崩してしまう人がある

企業がコンクリートを使用しない（外岡先生のお話から）

エコリフォームにも限界がある（自分自身の価値観）

やりたい気持ちも大であるが、出費も大である

コンクリート問題（コンクリートを使用しないで、満足できる構造となるのか）

メリットを定量化する（見える化）

### 中古住宅

行政が中古住宅の断熱性に力を入れる

不動産業者がもっと中古住宅を上手に販売する

不動産業者間のシステムが、大手側にとって有利なものになっている

ホームビルダーは安価な戸建てを建てがちである

中古住宅のエコ性能（等級）が不明である

日本の場合、中古住宅よりも新築が好まれる

土地が住宅に変わっていくといった、国の相続税システムに課題がある

良いものを長く使う文化を国外から学び、企業も取り入れる

建築基準や環境性能を改める

行政が中古住宅を購入するとリフォーム代を補助してくれるような施策を導入する

「中古」というマイナスイメージな言葉を使わないイメージ戦略を行う

※例えば、古民家、環境にやさしい、エコジージなど

1

### 情報を知る・伝える

自分が情報を知る

自分が周りに情報を伝える

エコジージボランティア活動を促進する

実体験（会議に参加していることなど）を知人に話し、口コミで広げる

若者が参入しやすい場作りをする

### 企業の取り組み

ホームビルダー企業が、ゼロエミッション住宅化をさらに促進させる

企業が完全住宅（ZEH）の建設をさらに拡大させる

企業の負担が、結果的に家計を圧迫することにつながる

コストが上がる

ホームセンターで省エネ商品をもっとアピールする

メディア業界は深夜放送をやめて、節電をする

### 再利用

企業が廃鉄といった産業廃棄物を活用する

「産業廃棄物」に対するイメージが悪い

イメージアップにつながる新製品を作る

企業がお手頃な価格で提供する

### 省エネ

自分がシャワーヘッドを変える

自分が省エネ家電を増やす

自分が自転車で休日は外出する

自分が冬の寒い時は厚着をして、暖房をおさえる

#### 【用語の解説】

ZEH：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略語で、家庭で使用するエネルギーと太陽光発電などでつくるエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家のこと。

# マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

# グループ5



### 電力の切替

自分が再エネ電力に切り替える	自分がとろざわ未来電力に切り替える
切り替える際に手間がかかる	自分が選択肢が多くて選べない
自分が家族を説得しないといけない	簡単に切り替えられるシステムをつくる
自分が調べてメリットを考える	

### PR

市が未来電力の良さをPRする	
市が株式会社（がするような売り込み）の仕事（をしなければならない）	※市は出資しているのに宣伝や営業ができない
会社が未来電力を周知する	未来電力がもっと周知対策する
未来電力のPRを市民で考える（コンテスト）	みらい電力の新たな出資者（事業者）をつくる

### エコリフォーム

自分は自宅の断熱を進める（断熱窓など）	自分がエコリフォームする
自宅のエコキュート導入を考える	家族を説得する材料を集めるのが大変
自分が家族を説得しないといけない	自分の場合（建て替えなど）お金がかかる
行政がもっと補助金を増やす	

### 集まる

家族が1つの部屋に集まって休日を過ごす
家族と生活リズムを合わせるのが難しい

### 選択

窓を開けたりグリーンカーテン等の工夫をしてエアコンを第一選択として選ばない
---------------------------------------

### 減らす

自分が家にいる時間を減らす	自分がお家で過ごす時間を減らす
自分がテレビを見る時間を減らす	自宅で仕事をしているので難しい

### 家電

自分がエコ家電に買い替える	国がエコ家電の買い替え補助金を出す
---------------	-------------------

### 補助金

行政は正しい補助金のあり方を踏み込んで考える	（市民全体で）補助金制度の存在を知る
市議会をオープン（直接民主主義化）にする	※市議会は民意を反映していないのではないかと。市議は抽選でもいいのでは。

### 企業のイノベーション

企業は補助金をあてにしないイノベーションをおこす
--------------------------

### 太陽光パネル

自分が太陽光パネルをつける
自分の場合、集合住宅なので太陽光パネルの設置を一存できない（パネルが重量オーバー）

### 料理 ①

自分が/みんながエコ料理に取り組む
家族でエコ料理に取り組む
市がエコ料理コンテストをひらく

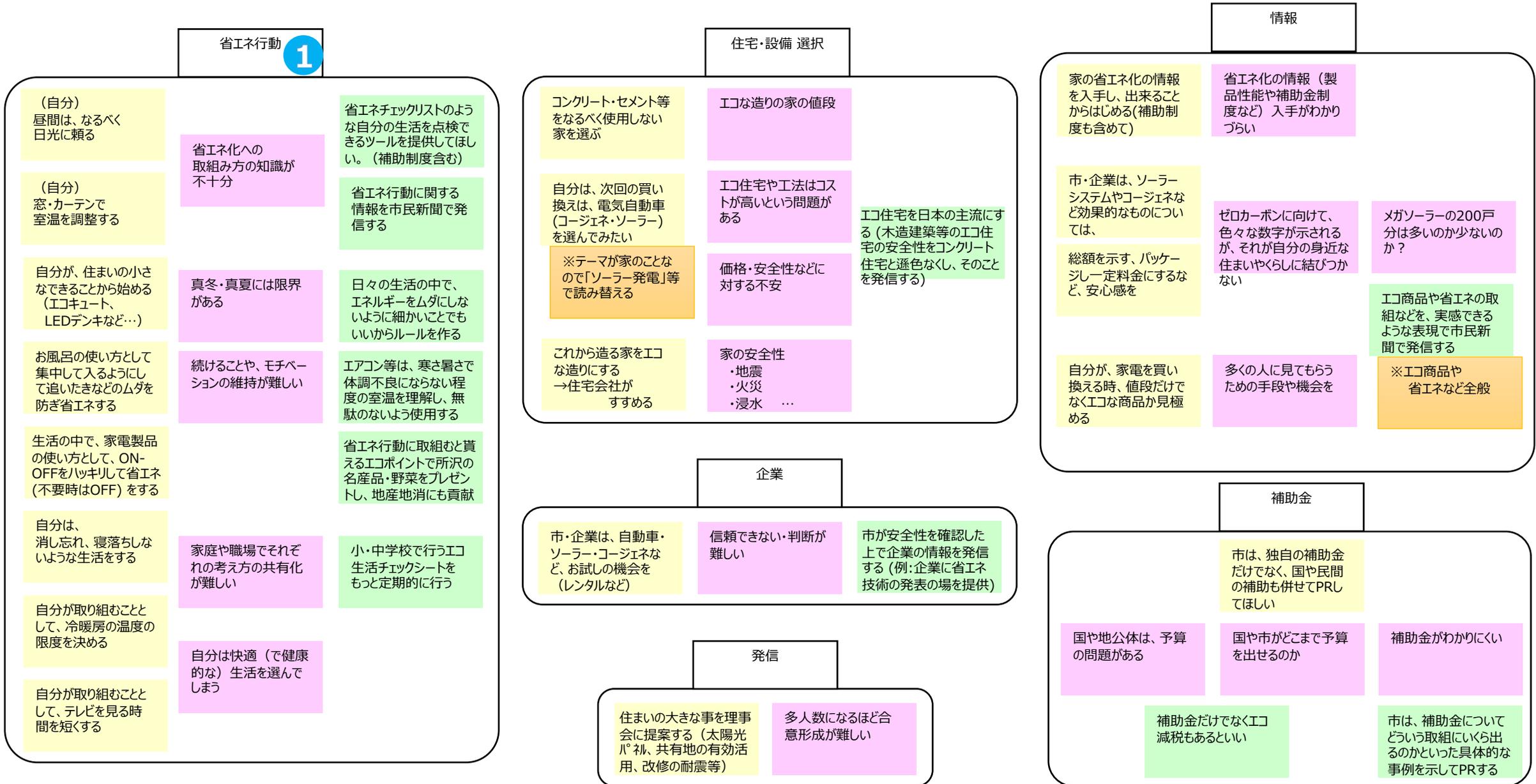
### 活動

自分がエコ活動をポジティブに考える（外岡先生を参考に）	自分が環境イベントに参加する	自分が上田マリノさん（のような人）にもっとお話を聞く インスタをフォローする	自分がどこでイベントがあるかわからない
参加する動機がない（人によって意識の差がある）	ゼロカーボン市民会議を継続的に実施する	意識の高い人が所沢に引っ越してくる	想定できる最悪のシナリオを市民の目に触れるところに掲示して（市民に）意識させる
		※所沢にもともと住んでいる人も意識が高くなる相乗効果がみこめる	

# マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

# グループ6



# マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

# グループ7



### ライフスタイル

- 自分が風呂に入る時、長時間入らない。追い焚き機能を使わない
- 自分がテレビの視聴時間を減らす
- 市が車ありきの市民の生活を見直してほしいが、ドレール設置などで自転車ライフをサポート
- 自分が家にいる時に電気を使わずに寝るようにする
- 家族が仲良くする  
※家族が仲良く同じ部屋で過ごすことで省エネ
- 自分がこのまま車なしの住まい、暮らしを続けていきたい
- 自分が5分でできるのであれば電力会社を変えてみる
- お風呂の追い焚きと時間がたってからのお湯入れとどっちがエコ？
- 駅に近い場所であれば難しい
- 排出量の計算ツールのようなものがあるても達成感がないとそこで終わる
- まず、家族との情報共有をする
- 子供が学校で学んだことを家族に伝える

### まちづくり コミュニティ

- お年寄りや若い人が住む街をつくる
- 市が引っ越し応援を勧めたほうが良い暮らし方に合わせた住まいを
- シルバニアファミリーとコラボし、お年寄り用のエコ+バリアフリー住宅
- 組織が空き家を再生して、一大エコリフォームタウンを作る
- ガウディのゲル公園のような若い人用のエコ+デザイン化された住宅
- ※ゲル公園：世界遺産に登録されたスペインの都市公園。元々はエコに配慮した庭園住宅。

### リフォーム 家づくり 1

- 自分が市の補助金を発信していったほうが良い（友人がマイホームを検討しているので）
- 自分がマンションの会で補助金利用のリフォームを提案していきたい
- 自分がマンションの中でできる対策を探していきたい
- 市が見積もり表やカンタン計算チャートを作る
- ホームページなどからの情報発信があれば
- 自分がリフォームするときにエコを重視した断熱を意識する
- 自分がリフォームや将来の住まいについて、エコ視点を忘れないようにしたい
- 自分がエコリフォームを考えた場合、費用や持続年数が心配
- エコで新しいものに変えるとしても、すぐに買い替えては効果が薄い
- 戸建てとマンションで情報や支援に格差がある
- マンションでは補助の制度の恩恵を受けにくい
- マンション全体でできれば効果は大きいはずだがハードルが高い
- マンションには制度上の制約に加え、理事会や管理組合の意見調整の難しさがある

### 市の取り組み

- 市がエコな暮らしのきっかけを増やしたほうが良い（市のイベントでソーラーキッチンが体験）
- 石油、鋼鉄、化学などCO<sub>2</sub>を出して儲けている会社から税金をとる（CO<sub>2</sub>、インフレ、貧困対策）
- 行政が積極的にエコ化を進める
- 市が、職員が（エコリフォームやソーラーパネルなどを）まず導入する
- 市がマンションの補助金予算取ってください
- 市がLEDへの変更など細かい部分も助けてほしい（ハードでなくソフト）
- 市がエコ用の資金源を増やしたほうが良い（エコで作ったお金だけでは追いつかない？）
- 市がブランディングのビジョンを詰めていったほうが良い（数値目標はあっても具体的な実例が乏しい）
- 市が率先してHPで発信してほしい 市報に実践報告を載せてほしい
- お金のことなので、もっと詳しく知りたい
- 今日インスタフォロー
- 市全体に対するエコの取り組みができているか見届ける委員会を作る（街灯はLEDで22時に消灯など）
- ふるさと納税の使いみちとしてエコに使う
- 他の市に比べて弱いので、休耕地から返礼品を生産するなどする
- 募金（あるところからもらう）
- 所沢出身の有名人などから

# マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

## テーマ：住まいからゼロカーボンを考える

# グループ8

### 1 生活スタイルの変更 (屋外)

1

自分が、天気の良い日に室内でしていた事をできる範囲で屋外でしてみる（読書など）

自分の場合、なるべく屋外で過ごすようにした方が良い

企業・市が、徒歩で移動すると歩く距離でポイントが貯まる仕組みを作る！

※自転車も可

気温や天候に影響を受けやすい

自分の場合、なかなか「外に出よう！」とは思えない

猛暑・極寒の場合難しい

市民が過ごせる場所があるといいです

企業・市がイベント等を用いて外に出やすい工夫をする

自分が室内施設に行く

屋外の地図充実

市に、屋外・緑地で一定の距離ごとにトイレを設置してほしい

※屋外で楽しめる場所の地図づくり

### 家庭の省エネ

自分の場合、見ていないTV・電気を消す

自分でできる住宅の省エネを工夫や楽しみながら始めてみる

自分・家族が、お風呂はシャワーではなくまとめて入る

自分が忙しくてできない

継続できない

企業・国が、家庭に行く頃には再エネになっているようにする

※電力すべてを再エネ化する

### 補助金

どうしても集合住宅が多いので、市が集合住宅にも補助金を用意すると良い

市が省エネ住宅への建替え補助金を増やす

企業が、家を建てる・リフォームするときに補助金がある旨を購入者に伝えるべき

市の場合、集合住宅だとしても省エネかどうかの判断がつきにくい

市が、建替え・リフォーム・新築時に省エネ・ゼロエネ住宅への補助金・財源確保が課題

市民に補助金がある事を知られていない

市がSNSを用いた情報発信

### リフォーム

自分がリフォームする際は2重窓

自分が断熱リフォームをしっかり行おう！

自分の場合、なかなかリフォームできない

リフォームをしたいがどうしたらよいかわからない。市が情報発信・広報をもっとしっかりすべき

市が空き家リフォームして貸し付けたり売ったりする→見本を出す

### 市・国がすすめる事業

市が空き家住居を活用する（仲介あつせんしたり）

タワーマンションをこれ以上建てない

市が緑のカーテンコンテストをもっと大きい規模にする

情報集めにくい

企業の場合、地価が上がって利益になるのでやめられない

国・市がEUのように省エネランクの低い物件を貸し出し禁止にすべき

### 事業スタイルの変更

企業がナイター・イルミネーションをやめる

アーティスト・企業が環境を壊さないアート・娯楽（光害がないもの等）へ切り替えてゆく

企業の場合、お金が優先されているので難しい

企業が自分で電力をまかなう